

学校教育目標	「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」				
	○ 進んで学び続け、考えを深め、豊かにする子どもを育てます。(知) ○ 自分大好き、友達大好き、心豊かに生きる子どもを育てます。(徳) ○ 心も体も鍛え、自他の生命と体を大切に作る子どもを育てます。(体) ○ 地域を愛し、人やものとの出会いも大切に、共に生きる子どもを育てます。(公) ○ 社会の多様な変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。(開)				
学校概要	創立 47 周年	学校長 小田 和宏	副校長 小原 由美	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 375 人		主な関係校: 高田中学校、高田小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈豊かな人間関係を形成する力〉 〈言語能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈自らすすんで学び、高めようとする力〉 〈協働してよりよい社会を目指す力〉	高田中学校 高田小学校 高田東小学校	○自らすすんで学び続ける子 ○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子 「豊かな表現力の育成を目指して～他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力を活かして～」をブロックテーマとして、学習活動を展開する。 ・小中授業交流や教科主任会、12人会議等を通して、小中一貫カリキュラムの理解を進め、具体的な取組を検討・検討していく。 ・児童生徒の交流を進めるとともに、地域と連携した取組を進める。

中期取組目標	「一人ひとりの子どもを徹底的に大切に、どの子どもにも居場所となる学校づくり」を目指します。 (1)人権教育を基盤とし、児童一人ひとりに寄り添った支援・指導をすることにより、あたたかな学級・学校風土をつくります。 (2)学びに向かう力を高め、確かな知識・技能の習得やそれを活用する思考力・判断力・表現力の育成を図ります。 (3)学級や学年を超えた集団の活動を充実することにより、自他を大切に、共によりよく生きる力を育てます。 (4)保護者や地域との連携を図ることにより、地域や社会に関心をもち、高田のまちを愛し、大切に作る心を育てます。 (5)自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、考えを表現したり合意を形成したりする力を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①ペア学年との交流をさらに充実させていくとともに、緑豊かな環境の中で生き生きと自然にかかわりながらより良く生きる子どもの姿を目指す。②子どもが自主的に活動に取り組むことができるように、委員会活動を活用しながら人権的な心情を養っていく。
担当 生活指導部・道徳部	
生きてはたらく知	①「9年間で育てる子ども像」を基軸に、育成を図りたい資質能力を明確にした教育課程、日々の授業改善、重点研究推進を通して、「進んでやる」「追究する」「思いを伝え合う」子どもの育成を目指す。②学力・学習状況調査から実態を把握・分析し、学習指導充実のための継続的な検証改善を図る。
担当 学習指導部	
健やかな体	①体力向上に向けて、体育学習の充実を図り、一校一実践運動の取組を通して、進んで運動に取り組む子どもの姿を目指す。②感染症対策も含め、自発的に健康づくりに取り組めるように、けんこう会議充実を図る。③芝生養生期間の取組を工夫し体を動かす環境をつくる。
担当 健康・安全部	
特別支援教育	①ユニバーサルデザインでの学習環境を学校全体で共有し、適切に実践することによって、安心して取り組める授業づくりに努める。②学校としてアセスメントを適切に進め、指導計画を活用して個に応じた支援及び合理的配慮を行う。
担当 生活指導部	
児童指導	①「高田東小学校ルールブック」や「学校生活のやくそく」を全職員で共有し、指導の意図を明確にして一貫共通した指導を行う。②Y-Pアセスメントを効果的に活用し、子ども一人ひとりや集団の実態を把握し、横浜プログラムを活用して「自分づくり」「仲間づくり」「集団づくり」を進める。
担当 生活指導部	
地域連携・学校運営協議会	①学校運営協議会で「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を共有し、地域の教育力を生かしながら学校運営力を高める。②地域コーディネーターと連携して、地域にある「人・もの・こと」を積極的に活用し、学習活動、体験活動の充実を図る。
担当 教務部	
公共心と社会参画	①体験的な活動の実施策を考え、様々な人との出会いを通して考え方や生き方を知ることを通して、児童が夢や目標をもてるようにする。②児童が集団の中での役割を意識し、自分のよさを発揮して役立つ喜びを感じられるようにするため、たてわり活動や委員会活動などを計画的・継続的に進める。
担当 行事部・特活部・生活総合部	
教育環境整備	①教材・教具・図書の整備及びICT機器の整備・活用・情報発信方法を理解し、学習支援や授業改善の場面で積極的に活用することで、子どもの学びの充実を図る。②校内の安全点検や設備状況調査を定期的実施し、破損個所の修繕等、環境整備に努めるとともに職場環境の改善を図る。
担当 GIGA部・学校管理部	
いじめへの対応	①月1回のアンケートにより、児童の人間関係の把握、学級風土の点検を行い、未然防止・早期発見に努める。②毎月の情報共有・いじめ防止対策委員会を通して組織的な児童の見守り体制を行うとともに、児童の人間関係の変化やいじめに対する全教職員の感度を高める研修を充実させていく。
担当 生活指導部・いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①「人材育成指標」を活用して教職員の適切な目標設定・目標共有を行う。②メンターチームでの研修を充実させ人材育成を進める。③職員全体が学校運営を見通す場(会議や研修)を適切に設け、OJTにつなげる。④業務削減、労務管理、適切な支援により教職員の負担軽減を図る。
担当 教務部・メンターチーム	